

授業科目名 <英訳>	リスク学通論 (リーディングプログラム) Introduction to Risk Studies		担当者所属・ 職名・氏名	医学研究科 教授 木原 正博							
配当 学年	1回生以上	単位数	2	開講年度・ 開講期	2017・ 後期	曜時限	水1	授業 形態	講義	使用 言語	日本語及び英語

[授業の概要・目的]

地球社会の安全・安心は、衛生・食料・人口・エネルギー・水・環境・自然災害・大規模事故・経済恐慌など、様々な要因によって脅かされている。地球社会の安全・安心を維持するためには、存在・予測されるリスクを認識・理解し、防御・軽減することが必要である。リスク (Risk) とは、一般的には、「ある行動に伴って(あるいは行動しないことによって)、このような危険事象に遭遇する可能性や損をする可能性を意味する概念」と理解されている。しかしながら、分野によってリスクの定義は異なっており、その用語の使い方には注意を要する。

本授業では、多様なリスクの定義を紹介し、理解を深める。また、リスクの深刻さを評価するための手法として、リスク・アセスメントについて講述する。リスクを予防、回避、補償するさまざまな社会的、技術的方法を紹介し、安全安心な地球社会のあり方を議論する。

【研究科横断型教育の概要・目的】 本科目は、博士課程教育リーディングプログラム「グローバル生存学大学院連携プログラム」において、学際融合教育研究推進センター・グローバル生存学大学院連携ユニットが提供しており、リスク概念について幅広い視野/知識を持った学生を育成することを目的としている。リーディング大学院プログラムに参画する医学研究科、教育学研究科、経済学研究科、理学研究科、工学研究科、農学研究科、情報学研究科、アジア・アフリカ地域研究科、地球環境学堂・学舎に所属する学生の受講を歓迎する。

[到達目標]

- ・ グローバル生存学においてカバーする「巨大自然災害」「突発的人為災害・事故」「環境劣化・感染症などの地域環境変動」「食料安全保障」などの諸問題に関する基礎知識を習得する。
- ・ 上記の諸問題における具体的な事例から、リスク概念について幅広い視野/知識を習得する。
- ・ リスクの予防やその対策に関し、議論ができる。

[授業計画と内容]

- ・ 序論：本授業科目の枠組みとその意義を理解する。
- ・ 種々の事例：地球社会の安全・安心を脅かす様々な危険事象の実例紹介。
- ・ 自然災害分野におけるリスク：自然災害リスクと、その予防・軽減の技術的方策、世界的・政策的取り組みについて。
- ・ 人為災害・事故、工学分野におけるリスク：工学系におけるリスクの概念紹介と数学的・確率的な取り扱いについて。
- ・ 医療・健康分野におけるリスク：人間の生命・健康を脅かす医学的なリスクとその対処方法について。
- ・ 国際関係とグローバル・リスク：食料の安全保障、経済危機などの問題と社会経済的、政治的な側面との関係を世界的な視野でとらえる。
- ・ リスクへの備え：リスク・アセスメント、リスク・コミュニケーション、リスク・マネジメント等のリスクの評価・回避、軽減手法について。
- ・ 討論

講義室：東一条館 思修館ホール

リスク学通論（リーディングプログラム）(2)

【履修要件】

予備知識は特に必要としない。英語での読み書き、討論ができること。

【成績評価の方法・観点及び達成度】

講義への出席点と討論時の発言、学期末のテスト（レポート）の点数を総合評価する。

【教科書】

使用しない

【参考書等】

（参考書）

【授業外学習（予習・復習）等】

特になし

（その他（オフィスアワー等））

この授業は、文系、理系の違いを越えて本学の大学院生に共通して取り組めるものである。異なる分野における学士課程を卒業し、一定の専門的知識を有する大学院生が混在するクラスにおいて、リスクに関わる諸問題をさまざまな観点から、分野横断的に講述されるものである。

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。